



ディプロマ・ポリシー

臨床検査学科

保健医療学部

教養と人間性

①幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。

倫理

②医療関連分野に従事する者として、とくにその倫理的側面を理解し行動できる。

医療への姿勢

③全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、患者さんの立場に立った医療を実践できる。

医学知識

知識・技術

根拠を持った医療

①医療人に必要とされる基礎医学および臨床医学の基本的知識を身につける。
②患者さんの診断と治療に資するよう、臨床検査に関する最新の知識と技術を身につける。(臨床検査技師)
③ニューバイオテクノロジーに関する基礎的な知識と技術を身につける。
④環境衛生に関する基礎的な知識と技術を身につける。(第一種衛生管理者)
⑤危険物の取扱に関する基礎的な知識と技術を身につける。(甲種危険物取扱者)
⑥患者さんの身体的、心理的問題を解決するために、専門的知識を活用し、科学的根拠をもった適切な判断ができる。

研究マインド

⑦各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを発展させることができる。

内省・生涯学習

⑧常に自らの能力を点検・評価し、生涯学び続ける姿勢を身につける。

チーム医療とコミュニケーション能力

①チーム医療の中で調整・連携の役割を果たすための適切なコミュニケーション能力を身につける。

医療安全管理

②安全管理について常に細心の注意を怠らずに業務を遂行できる。

地域医療

③保健・福祉・医療チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。

①人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。

②保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。

③協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全につねに留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。

1年次

人文科学 倫理学／心理学／文学	外国語 英語Ⅰ	人文科学 哲学	社会科学 法学／社会学	外国語 英語Ⅱ	外国語 英会話／ドイツ語	体育 スポーツ科学
--------------------	------------	------------	----------------	------------	-----------------	--------------

基礎医学系 人体の構造と機能Ⅱ (生理学) 人体の構造と機能Ⅰ (解剖学) 衛生	基礎医学系 病理学 人体の構造と機能Ⅲ (生化学実験) 食
---	---

臨床検査系 臨床検査概論	数学・自然科学 人体の科学入門 化学Ⅱ 危
-----------------	--------------------------------

数学・自然科学 物理学 化学Ⅰ 生物学 危	数学・自然科学 物理学実験 化学実験 生物学実験 危
-----------------------------------	--

総合科目 情報科学実習	総合科目 情報科学	医療の基本 医療の基本Ⅰ
----------------	--------------	-----------------

2年次

外国語 医学英語	総合科目 原書講読	医療の基本 医療の基本Ⅱ
-------------	--------------	-----------------

基礎医学系 人体の構造と機能Ⅲ (生化学B) 免疫学 微生物学 疫学 医用工学実験 医用工学概論 衛生 食 危 食 危	臨床医学系 ヒトの病気Ⅱ ヒトの病気Ⅰ 食 食	基礎医学系 薬理学 食 危
---	----------------------------------	---------------------

臨床検査系 生理検査学Ⅰ 遺伝子・染色体検査学 一般検査学 病理検査学 血液検査学Ⅰ 食 危 危	臨床検査系 生理検査学Ⅱ 臨床微生物学Ⅰ 免疫検査学 臨床化学Ⅱ 臨床化学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 危 危 食 危
--	--

臨床検査系 一般検査学実習 医動物学 危	臨床検査系 生理検査学実習Ⅰ 病理検査学実習 血液検査学実習
-------------------------------	---

総合科目 労働衛生法規Ⅰ 衛生	社会科学 社会福祉論	総合科目 労働衛生法規Ⅱ 衛生 危	総合科目 健康食品総論 食	医療の基本 医療の基本Ⅲ
-----------------------	---------------	-------------------------	---------------------	-----------------

3年次

総合科目 卒業研究	臨床検査系 公衆衛生学実習 公衆衛生学 保健医療福祉総論 栄養学 衛生 食 危 衛生 食 危
--------------	---

基礎医学系 公衆衛生学実習 公衆衛生学 保健医療福祉総論 栄養学 食 危 衛生 食 危	臨床検査系 臨床検査総合管理学Ⅱ 検査システム学
--	--------------------------------

臨床検査系 臨床検査総合管理学Ⅰ 生理検査学Ⅲ 臨床微生物学Ⅱ 輸血移植検査学 臨床化学Ⅱ 食 危	臨床検査系 生理検査学実習Ⅱ 免疫検査学実習 臨床化学実習 病理細胞診断学 危
---	--

臨床検査系 生理検査学実習Ⅲ 臨床微生物学実習 輸血移植検査学実習 病理診断学 食 危	臨床検査系 生理検査学実習Ⅳ
--	-------------------

総合科目 環境衛生工学	総合科目 救急救命論 衛生	総合科目 衛生管理学 衛生	臨床検査系 検査診断学	社会科学 産業保健学 保健社会学 衛生	総合科目 薬事関係法規 食
----------------	---------------------	---------------------	----------------	------------------------------	---------------------

4年次

総合科目 卒業研究	臨床検査系 公衆衛生学実習 公衆衛生学 保健医療福祉総論 栄養学 衛生 食 危 衛生 食 危
--------------	---

基礎医学系 公衆衛生学実習 公衆衛生学 保健医療福祉総論 栄養学 食 危 衛生 食 危	臨床検査系 臨床検査総合管理学Ⅱ 検査システム学
--	--------------------------------

臨床検査系 臨床検査総合管理学Ⅰ 生理検査学Ⅲ 臨床微生物学Ⅱ 輸血移植検査学 臨床化学Ⅱ 食 危	臨床検査系 生理検査学実習Ⅱ 免疫検査学実習 臨床化学実習 病理細胞診断学 危
---	--

臨床検査系 生理検査学実習Ⅲ 臨床微生物学実習 輸血移植検査学実習 病理診断学 食 危	臨床検査系 生理検査学実習Ⅳ
--	-------------------

総合科目 環境衛生工学	総合科目 救急救命論 衛生	総合科目 衛生管理学 衛生	臨床検査系 検査診断学	社会科学 産業保健学 保健社会学 衛生	総合科目 薬事関係法規 食
----------------	---------------------	---------------------	----------------	------------------------------	---------------------

【令和7年度 臨床検査学科4年次 時間割表】

<前期>

*：選択科目

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ～ 10:30	検査診断学* (茅野)	検査診断学* (茅野)		生理検査学IV* (内田)	生理検査学IV* (内田)	
2 10:40 ～ 12:10	検査診断学* (茅野)	検査診断学* (茅野)		生理検査学IV* (内田)	生理検査学IV* (内田)	
3 13:10 ～ 14:40						
4 14:50 ～ 16:20						
5 16:30 ～ 18:00						

・臨地実習* (小野川) ・卒業研究* (小野川)

<後期>

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ～ 10:30			薬事関係法規* (長島)		保健社会学* (与五沢)	
2 10:40 ～ 12:10			産業保健学* (与五沢)			
3 13:10 ～ 14:40	検査学特論* (小野川)					
4 14:50 ～ 16:20						
5 16:30 ～ 18:00						

・卒業研究* (小野川)

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

目 次

科目名(科目責任者)

<専門科目>

—臨床検査系—

生理検査学Ⅳ(内田 康子)	9
臨地実習(小野川 傑)	12
検査学特論(小野川 傑)	14

—社会医学系—

産業保健学(与五沢 真吾)	18
保健社会学(与五沢 真吾)	21

—総合科目—

検査診断学(茅野 秀一)	25
薬事関係法規(長島 浩)	27
卒業研究(小野川 傑)	30

講義名	生理検査学Ⅳ		
(副題)	専門科目（臨床検査系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 内田 康子	臨床検査学科教員

担当教員	内田 康子・大村 一之
科目の目標	生理検査学ⅠⅡⅢで学んだ知識と生理検査学実習ⅠⅡⅢで体験し修得した手技と知識を統合し、臨地実習へとつなげることを目的とする。特に循環器系検査、呼吸器系検査、神経・筋系検査、超音波検査についての知識を整理し、検査手技と検査データの評価、そして疾患との関係を通して総合的に学習する。
学習の具体的な目標	1) 循環器系検査 1. 標準12誘導心電図検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 2. 負荷心電図検査の実施上の注意点および検査データの評価を説明できる。 3. ホルター心電図検査の誘導法選択の意味と検査器具の装着を説明できる。 4. 脈管疾患検査（ABI/PWV）の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 2) 呼吸器系の検査 1. 肺機能検査（スパイロメトリー）の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 2. 機能的残気量、肺拡散能、クロージングボリューム検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 3) 神経・筋系の検査 1. 脳波検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 2. 針筋電図検査と神経伝導検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 3. 大脳誘発電位検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 4) 超音波検査 1. 表在臓器超音波検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 2. 血管超音波検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 3. 腹部臓器超音波検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。 4. 心臓超音波検査の実施上の注意点および検査データと疾患との関係を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	循環器系検査1		
	授業内容	1. 標準12誘導心電図検査の実施上の注意点を説明できる。 2. 標準12誘導心電図検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	2限

講義室	B205			
担当者	内田・大村			
テーマ	循環器系検査2			
授業内容	1. 負荷心電図検査の種類と実施上の注意点を説明できる。 2. 負荷心電図検査の検査データの評価を説明できる。 3. ホルター心電図検査の誘導法選択の意味と検査器具の装着を説明できる。 4. 脈管疾患検査（ABI/PWV）の実施上の注意点を説明できる。 5. 脈管疾患検査（ABI/PWV）の検査データと疾患との関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	呼吸器系検査1		
	授業内容	1. 肺機能検査（スパイロメトリー）の実施上の注意点を説明できる。 2. 肺機能検査（スパイロメトリー）の検査データと疾患との関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	呼吸器系検査2		
	授業内容	1. 機能的残気量、肺拡散能、クロージングボリューム検査の実施上の注意点を説明できる。 2. 機能的残気量、肺拡散能、クロージングボリューム検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	神経・筋系の検査1		
	授業内容	1. 脳波検査の実施上の注意点を説明できる。 2. 睡眠脳波の特徴を説明できる。 3. 脳波検査の各種賦活法の特徴を説明できる。 4. 脳波検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	神経・筋系の検査2		
	授業内容	1. 各種神経伝導検査の実施上の注意点を説明できる。 2. 針筋電図検査と神経伝導検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 3. 各種大脳誘発電位検査の実施上の注意点を説明できる。 4. 大脳誘発電位検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	超音波検査1		
	授業内容	1. 表在臓器超音波検査の実施上の注意点を説明できる。 2. 表在臓器超音波検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 3. 血管超音波検査の実施上の注意点を説明できる。 4. 血管超音波検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	内田・大村		
	テーマ	超音波検査2		
	授業内容			

1. 腹部臓器超音波検査の実施上の注意点を説明できる。 2. 腹部臓器超音波検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 3. 心臓超音波検査の実施上の注意点を説明できる。 4. 心臓超音波検査の検査データと疾患との関係を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)	
評価方法	1. 筆記試験の成績、日常点(学ぶ姿勢、課題の実施状況)を総合的に判断して評価する。 2. 筆記試験は全範囲を対象として定期試験期間中に実施する。不合格者には再試験を行う。 3. 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 4. 課題の詳細は授業内に提示する。
教科書	最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版、東條尚子・川良徳弘編著、医歯薬出版 (新規購入の場合は「同 第3版」)
参考書	1. 循環機能検査技術教本、日本臨床衛生検査技師会監修、じほう 2. 呼吸機能検査技術教本、日本臨床衛生検査技師会監修、じほう 3. 神経生理検査技術教本、日本臨床衛生検査技師会監修、じほう 4. 超音波検査技術教本、日本臨床衛生検査技師会監修、じほう
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 前期：火曜日 12：10～12：40 後期：水曜日 12：10～12：40 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 <内田>Email：uchidaya@saitama-med.ac.jp <大村>Email：kohmura@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	・授業前日までには教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の復習を行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることを心掛けること。 ・臨床検査技師の資格取得に必須の科目であるため、課題への取り組みや筆記試験を通して、臨床検査技師国家試験に向けての準備を進める。 ・この科目は人体の構造と機能ⅠⅡおよび実習、医用工学概論および実習、生理検査学ⅠⅡⅢおよび生理検査学実習ⅠⅡⅢの学修を前提としている。そのため、原則としてこれらの科目を受講または同時履修していること。

講義名	臨地実習		
(副題)	専門科目（臨床検査系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	12	時間	420.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	12単位/420時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 小野川 傑	臨床検査学科教員

担当教員	小野川 傑・藤原 智徳・山岸 敏之・飯野 望・木下 勇一・小野 公嗣・黒田 真代・与五沢真吾・酒井 純・内田 康子・伴場 裕巳・山本 晃司・水谷 諭史・山本 梓司・大村 一之・高橋 祐介・森幸太郎・山賀 貴・川田 真衣・古川 敏基・竹内 慶太・茅野 秀一・小峰 伸一
科目の目標	1. 実際の医療現場における臨床検査技師に必要な基礎的知識を身に付け、技術を実施できる。 2. 多職種からなるチーム医療における臨床検査技師の役割に即した適切な行動ができる。 3. 患者中心の医療を支える臨床検査の意義を踏まえた、医療人・社会人としての責任ある行動ができる。
学習の具体的な目標	臨地実習ガイドライン2021に従い、臨地実習において「必ず実施または見学させる行為」を修めること。さらに、以下についてを臨地実習における目標と定める。 1) 一般検査：一般検査に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 ・一般検査の特徴と臨床検査における役割を理解し、臨床的意義や結果の解釈を説明できる。 2) 細菌検査：細菌検査に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 ・細菌検査の特徴と臨床検査における役割を理解し、臨床的意義や結果の解釈を説明できる。 ・感染防御における検査技師の役割を理解し、アウトブレイクが起こった時の対応を説明できる。 3) 遺伝子検査：遺伝子検査に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 4) 輸血検査：輸血検査に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 ・輸血療法の目的と臨床的意義を理解し、その効果と危険性を説明できる。 ・輸血製剤管理の基本的な知識と有効利用の重要性について説明できる。 5) 化学検査：化学検査に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 ・化学検査の特徴と臨床検査における役割を理解し、臨床的意義や結果の解釈を説明できる。 6) 免疫検査：免疫検査に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 ・免疫検査の特徴と臨床検査における役割を理解し、臨床的意義や結果の解釈を説明できる。 ・感染症関連の検査を通して、感染予防とその検体処理について説明できる。 7) 血液検査：血液検査に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 ・血液検査の特徴と臨床検査における役割を理解し、臨床的意義や結果の解釈を説明できる。 8) 生理機能検査：生理機能検査に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 ・患者への適切な対応や他の医療職との関わり方を学び、検査技師の役割を説明できる。 ・生理機能検査の目的・意義を理解し、一般的な波形や画像の解析を説明できる。 9) 病理検査：病理検査や細胞診、組織診に必要な基本的な知識および検査技術を習得できる。 ・病理検査の特徴と臨床検査における役割を理解し、臨床的意義や結果の解釈を説明できる。
授業計画表	
<臨地実習スケジュール>3月中旬予定：臨地実習前技能修得到達度評価試験・学内オリエンテーション（臨床実習ノート持参のこと）、4月予定：学年オリエンテーション、特別演習、健康診断（毛呂）、実習先オリエンテーション、5月7日～7月15日：臨地実習（10週間。予備日7月16日～23日）、8月～9月：実習施設評価のフィードバック	
評価方法	実習評価（責任感、積極性、正確性、協調性、理解度）、特別演習などの取り組み方、臨地実習前技能修得到達度評価試験より総合的に評価を行う。

教科書	臨床検査技師 臨地実習ノート（医歯薬出版株式会社）、三村邦裕ら著（2024）
参考書	臨床検査技師 臨地実習ハンドブック（医歯薬出版株式会社）、市野直浩ら編（2024）
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【臨地実習WG】 Email：rinjitu@saitama-med.ac.jp（臨地実習用） 【小野川】 火曜の昼休み（12:10-13:10）。 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E mail：「学生便覧」を参照のこと
履修上の注意、履修要件	実習までには「臨地実習ノート」の自己評価基準書部分を予習し、実習において求められている内容をよく理解しておくこと。また教科書などを利用して、実習内容を「理解」しておくこと。 期日の定めのある提出書類（レポート等を含む）は、指定された日時までに提出すること。 《履修要件》 3年次までに開講されている臨床検査技師資格取得要件科目を全て修得していること。 3年後期末に実施される臨地実習前技能到達度評価試験に合格していること。 《履修上の注意》 1) 実習期間中は原則として午前8時30分までに入室し、午後5時に終了することを励行する。 2) 実習には常識的な服装で臨むこと。清潔な白衣を着用し、名札を付ける。 病院により指定がある場合はそれに従う。 3) 病院内では、患者、院内職員、来客などに対する対応に留意する。 4) 不明な点、不安な点は自分で判断することなく、必ず指導を仰ぐ。 5) 遠隔地・本人健康保険証をもっている学生は、必ず携帯する。 6) 毎日、実習ノートに必要事項を記入し、実習指導責任者に捺印を受ける。 7) やむを得ない理由により早退・欠席する場合は「早退・欠席届」を、実習器具などを破損した場合は「器物破損届」「アクシデント・インシデント報告書」を、該当する検査室の実習指導責任者に提出する。 8) 実習日数が不足し、追実習が必要となった場合は、該当する検査室の実習指導責任者と相談の上、追実習を実施する。この際、「追実習願」を実習指導責任者に提出する。 9) オリエンテーションを欠席した場合、実習は受けられない。

講義名	検査学特論		
(副題)	専門科目（臨床検査系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	3	時間	90.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	3単位/90時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 小野川 傑	臨床検査学科教員

担当教員	小野川 傑・藤原 智徳・山岸 敏之・飯野 望・木下 勇一・小野 公嗣・黒田 真代・与五沢真吾・酒井 純・内田 康子・伴場 裕巳・山本 晃司・水谷 諭史・山本 梓司・大村 一之・高橋 祐介・森 幸太郎・竹内 慶太・川田 真衣・宮本 裕一・鈴木 康文・茅野 秀一・小峰 伸一
科目の目標	臨床検査技師資格取得に必要な基礎力向上の対策として行う。試験科目として10科目があるが、各々複数の授業科目に対応している。各授業科目の国試ガイドラインに沿った復習を行い、関連する問題に対して正答を解答できる能力を習得する事を目的とする。総合して臨床検査技師国家試験に合格し得る能力を習得する事を最終目的とする。
学習の具体的な目標	1) 臨床検査総論（検査総合管理学、生物化学分析検査学、形態検査学、病因・生体防御検査学） 1. 医療の基本に関する国試問題を正答できる。 2. 検査管理学に関する国試問題を正答できる。 3. 検体採取処理技術に関する国試問題を正答できる。 4. 検査情報処理科学に関する国試問題を正答できる。 5. 臨床検査総論に関する国試問題を正答できる。 6. 医動物学に関する国試問題を正答できる。 7. 遺伝子検査学に関する国試問題を正答できる。 2) 臨床検査医学総論（臨床病態学） 1. 臨床医学各論（ヒトの病気）に関する国試問題を正答できる。 2. 臨床病理学総論に関する国試問題を正答できる。 3. 薬理学に関する国試問題を正答できる。 3) 臨床生理学（人体の構造と機能、生理機能検査学） 1. 人体の構造と機能（生理学）に関する国試問題を正答できる。 2. 臨床生理学に関する国試問題を正答できる。 4) 臨床化学（人体の構造と機能、生物化学分析検査学） 1. 人体の構造と機能（生化学）に関する国試問題を正答できる。 2. 基礎臨床化学および臨床化学に関する国試問題を正答できる。 3. 放射性同位元素検査学に関する国試問題を正答できる。 5) 病理組織細胞学（人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連、形態検査学） 1. 人体の構造と機能（解剖学）に関する国試問題を正答できる。 2. 病理学および病理組織細胞検査学に関する国試問題を正答できる。 3. 病理細胞検査診断学に関する国試問題を正答できる。 6) 臨床血液学（人体の構造と機能、形態検査学、病因・生体防御検査学） 1. 人体の構造と機能（生理学、血液の領域）に関する国試問題を正答できる。 2. 血液学および臨床血液学に関する国試問題を正答できる。 7) 臨床微生物学（病因・生体防御検査学） 1. 微生物学および臨床微生物学に関する国試問題を正答できる。 8) 臨床免疫学（病因・生体防御検査学） 1. 免疫学および臨床免疫学に関する国試問題を正答できる。 2. 輸血移植学に関する国試問題を正答できる。

- 9) 公衆衛生学（保健医療福祉と医学検査）
1. 公衆衛生学に関する国試問題を正答できる。
 2. 保健医療福祉総論に関する国試問題を正答できる。
- 10) 医用工学概論（医療工学及び情報科学、検査総合管理学）
1. 医用工学概論に関する国試問題を正答できる。
 2. 情報科学に関する国試問題を正答できる。
 3. 検査情報処理科学に関する国試問題を正答できる。
 4. 検査機器総論に関する国試問題を正答できる。

授業計画表

1	テーマ	オリエンテーション
	授業内容	臨床検査技師国家試験に向けてのガイダンス。国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 （予習時間30分、復習時間30分）
2	テーマ	病理組織細胞学①
	授業内容	病理組織細胞学領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 （予習時間30分、復習時間30分）
3	テーマ	病理組織細胞学②
	授業内容	〃
4	テーマ	病理組織細胞学③
	授業内容	〃
5	テーマ	病理組織細胞学④
	授業内容	〃
6	テーマ	病理組織細胞学⑤
	授業内容	〃
7	テーマ	病理組織細胞学⑥
	授業内容	〃
8	テーマ	臨床検査総論①
	授業内容	臨床検査総論領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 （予習時間30分、復習時間30分）
9	テーマ	臨床検査総論②
	授業内容	〃
10	テーマ	臨床検査総論③
	授業内容	〃
11	テーマ	臨床検査総論④
	授業内容	〃
12	テーマ	臨床検査総論⑤
	授業内容	〃
13	テーマ	臨床検査医学総論①
	授業内容	臨床検査医学総論領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 （予習時間30分、復習時間30分）
14	テーマ	臨床検査医学総論②
	授業内容	〃
15	テーマ	臨床生理学①
	授業内容	臨床生理学領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 （予習時間30分、復習時間30分）
16	テーマ	臨床生理学②
	授業内容	〃
17	テーマ	臨床生理学③
	授業内容	〃
18	テーマ	臨床生理学④
	授業内容	〃

19	テーマ	臨床生理学⑤
	授業内容	〃
20	テーマ	臨床生理学⑥
	授業内容	〃
21	テーマ	臨床化学①
	授業内容	臨床化学領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)
22	テーマ	臨床化学②
	授業内容	〃
23	テーマ	臨床化学③
	授業内容	〃
24	テーマ	臨床化学④
	授業内容	〃
25	テーマ	臨床化学⑤
	授業内容	〃
26	テーマ	臨床化学⑥
	授業内容	〃
27	テーマ	臨床化学⑦
	授業内容	〃
28	テーマ	臨床血液学①
	授業内容	臨床血液学領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)
29	テーマ	臨床血液学②
	授業内容	〃
30	テーマ	臨床血液学③
	授業内容	〃
31	テーマ	臨床血液学④
	授業内容	〃
32	テーマ	臨床微生物学①
	授業内容	臨床微生物学領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)
33	テーマ	臨床微生物学②
	授業内容	〃
34	テーマ	臨床微生物学③
	授業内容	〃
35	テーマ	臨床微生物学④
	授業内容	〃
36	テーマ	臨床微生物学⑤
	授業内容	〃
37	テーマ	臨床免疫学①
	授業内容	臨床免疫学領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)
38	テーマ	臨床免疫学②
	授業内容	〃
39	テーマ	臨床免疫学③
	授業内容	〃
40	テーマ	臨床免疫学④
	授業内容	〃

41	テーマ	臨床免疫学⑤
	授業内容	〃
42	テーマ	医用工学概論①
	授業内容	医用工学概論領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)
43	テーマ	医用工学概論②
	授業内容	〃
44	テーマ	公衆衛生学①
	授業内容	公衆衛生学領域の国家試験問題について不明確な知識を明確にし、正答できるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)
45	テーマ	公衆衛生学②
	授業内容	〃
評価方法		1. 試験（国家試験形式に準じた200題の多肢選択式）を2回実施し、評価する。 なお、社会的・医学的理由によりやむを得ず試験を欠席した履修者に対して追試験を行うことがある。再試験は原則として実施しない。
教科書		各科目使用教科書
参考書		1. 臨床検査技師国家試験出題基準（令和7年版）、厚労省医政局医事課 2. クエスチョンバンク臨床検査技師国家試験問題解説、メディックメディア
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【小野川】 火曜の昼休み（12:10-13:10）。 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail：「学生便覧」を参照のこと
履修上の注意、履修要件		○本科目は臨床検査技師資格取得要件科目であり、臨床検査技師国家試験受験予定者には必須の科目となる。 ○演習科目の為、授業回数の4/5以上の出席が必要となる。就職活動、病気等で欠席する場合は必ず所定の届出をすること。 ○講義テーマの順番は改めて提示する。適宜、追加講義や補講を実施することがあるので必ず出席すること。 ●年間通して行われる模擬試験を毎回受験すること。 ●国家試験受験を想定した、予習30分・復習30分を行うこと。 《履修要件》 他の臨床検査技師資格取得要件科目を全て既修得（合格している）であること。

講義名	産業保健学		
(副題)	専門科目（社会医学系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 与五沢 真吾	臨床検査学科教員

担当教員	与五沢真吾・山賀 貴
科目の目標	産業保健の目的、歴史および職業に起因する健康障害を理解し、産業保健の専門家として必要な知識を習得する。第1種衛生管理者の必修科目であるが、公衆衛生学の各論に相当するので、臨床検査技師国家試験を受験する学生は受講することが望ましい。
学習の具体的な目標	1) 産業保健の目的を述べることができる。 2) 産業保健の歴史を述べることができる。 3) 職業病の病態や予防法・治療法を述べることができる。 4) 作業関連疾患の発症機序と予防法を述べることができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	産業保健学総論-1		
	授業内容	1. 産業保健の目的を説明できる。 2. 産業保健の歴史を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	産業保健学総論-2		
	授業内容	1. 有害な作業環境の種類を説明できる。 2. 有害物質の体内侵入の形態を説明できる。 3. 有害物質の曝露の形態と健康障害の起こり方を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	2限
	講義室	C307		

担当者	与五沢			
テーマ	化学的有害因子-1			
授業内容	1. 有機溶剤中毒の病態を説明できる。 2. その他の特定化学物質による中毒の病態を説明できる。 3. 有毒ガスによる中毒による病態を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	化学的有害因子-2		
	授業内容	1. 主な金属中毒の病態を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	化学的有害因子-3		
	授業内容	1. 農薬中毒の疫学を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	化学的有害因子-4		
	授業内容	1. 主な農薬中毒の病態を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	化学的有害因子-5		
	授業内容	1. 酸素欠乏症の病態を説明できる。 2. 硫化水素中毒の病態を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	粉じんによる健康障害		
	授業内容	1. 無機じん肺の病態を説明できる。 2. じん肺の管理区分とその対応を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	物理的有害因子-1		
	授業内容	1. 高温による健康障害を説明できる。 2. 寒冷による健康障害を説明できる。 3. 振動による健康障害を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	物理的有害因子-2		
	授業内容			

1. 騒音性難聴の病態を説明できる。 2. 電離放射線による健康障害を説明できる。 3. 非電離放射線による健康障害を説明できる。 4. 低圧による健康障害を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
11	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	物理的有害因子-3		
	授業内容	1. 高気圧障害の病態と治療法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	石綿による健康障害		
	授業内容	1. 石綿による健康障害を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	職業癌		
	授業内容	1. 職業癌を起こす有害物質を説明できる。 2. 健康管理手帳を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	社会的因子による健康障害-1(職場のメンタルヘルス)		
	授業内容	1. 職場のメンタルヘルスを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	2限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	社会的因子による健康障害-2(職場のメンタルヘルス)		
	授業内容	1. 現代社会における産業保健の問題点(とくにメンタルヘルスに関して)を指摘し、対応方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 定期試験時に行う筆記試験で評価する。 2. 再試験の有無: 有		
教科書		1. 公衆衛生がみえる最新版、医療情報科学研究所編、メディックメディア 2. 国民衛生の動向(2025/2026)、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会		
参考書		1. 労働衛生のしおり最新版、中央労働災害防止協会編、中央労働災害防止協会 2. 最新臨床検査学講座公衆衛生学最新版、照屋浩司他著、医歯薬出版		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【与五沢】 火曜日 9:00-10:00、16:30-18:00 上記時間帯以外で面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 連絡先については学生便覧参照のこと。		
履修上の注意、履修要件		授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けてください。		

講義名	保健社会学		
(副題)	専門科目（社会医学系）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 与五沢 真吾	臨床検査学科教員

担当教員	与五沢真吾・山賀 貴・野寺 誠
科目の目標	本科目では、世界で最長寿国となった我が国の国民衛生の歴史および現状を把握するとともに、今後解決しなければならない社会における保健・医療問題について、臨床検査の視点から考察する能力を修得する。なお、本講座は3年次必修科目である「公衆衛生学」に含まれる衛生統計学および保健学の各論として位置づけており、臨床検査技師資格取得希望者は全員履修することが望ましい。
学習の具体的な目標	1) 保健衛生の歴史を説明できる。 2) 国民衛生の現状を説明できる。 3) 衛生の主要指標について説明できる。 4) 医療における臨床検査の役割を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	野寺・与五沢		
	テーマ	保健社会学総論-1		
	授業内容	1. 社会における保健衛生の役割を説明できる。 2. 社会保障制度の体系と社会保障の現状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月10日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	野寺・与五沢		
	テーマ	保健社会学総論-2		
	授業内容	1. 保健医療分野における国際協力について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	野寺・与五沢		

テーマ	医療の中の臨床検査-1			
授業内容	1. 医療における臨床検査の歴史を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	医療の中の臨床検査-2		
	授業内容	1. 医療における臨床検査の役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	医療の中の臨床検査-3		
	授業内容	1. 医療における臨床検査の問題点・将来展望について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	医療経済-1		
	授業内容	1. 医療保障制度の歴史と流れを説明できる。 2. 医療保障制度の現状と問題点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	医療経済-2		
	授業内容	1. 老人医療の現状と今後の動向について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	衛生行政-1		
	授業内容	1. 衛生行政の歴史と流れを説明できる。 2. 衛生行政の組織体系について説明できる。 3. 保健所の業務と地域における役割を説明できる。 4. 地域保健法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	衛生行政-2		
	授業内容	1. 母子保健の現状と動向について説明できる。 2. 母子保健指標の定義・意味を説明できる。 3. 母子保健指標から明らかになった問題点について説明できる。 4. 母子保健活動における行政の役割と母子保健対策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	衛生行政-3		
	授業内容			

1. 老人保健事業の現状と今後の方向性について説明できる。 2. 高齢者保健福祉施策の歴史について説明できる。 3. 介護保険制度の概要について説明できる。 4. 介護保険制度の現状と問題点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
11	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	衛生統計-1		
	授業内容	1. 人口統計の種類と概要を説明できる。 2. 人口静態統計の指標の現状と今後の動向について説明できる。 3. 世界人口の動向について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	衛生統計-2		
	授業内容	1. 人口動態統計の指標を列記できる。 2. 出生・死亡の動向について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	与五沢		
	テーマ	環境保健-1		
	授業内容	1. 大気の構造について説明できる。 2. 大気汚染の原因と発生源について説明できる。 3. 大気汚染物質とその健康影響を説明できる。 4. 大気汚染対策について説明できる。 5. 日本・世界の大気汚染エピソードについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	環境保健-2		
	授業内容	1. 上水道、下水道の種類と普及状況について説明できる。 2. 浄水法、下水処理法について説明できる。 3. 水質汚濁の現状と対策について説明できる。 4. 水質汚濁により発生した公害事件について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	1限
	講義室	C307		
	担当者	山賀		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 保健社会学のまとめを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 筆記試験と出席状況を総合的に判断して評価する。 2. 定期試験時に筆記試験を行う。 3. 再試験の有無：有		
教科書		1. 国民衛生の動向（2025/2026）、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会 2. 公衆衛生がみえる最新版、医療情報科学研究所編、メディックメディア		
参考書		1. 公衆衛生学、安達修一 編著、三共出版		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【与五沢】 火曜日 9：00-10：00、16：30-18：00 上記時間帯以外で面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 連絡先については学生便覧参照のこと。		

講義名	検査診断学		
(副題)	専門科目（総合科目）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 茅野 秀一	臨床検査学科教員

担当教員	茅野 秀一・内田 康子
科目の目標	より良い臨床検査技師となるために、 1) 検体検査・生理検査・認知症検査などの基礎的知識をもとに様々な現場で行われる臨床検査のデータを説明できる。2) 疾病の成因を系統的に把握、理解する能力を養う。3) 仲間と協調して学修を展開できる。
学習の具体的な目標	1) 代表的な疾患における臨床検査の重要性について説明できる。 2) 臨床検査データに基づいて症例の病態を評価できる。 3) 主要な症候に基づいた鑑別疾患および診断確定に有用な検査を挙げることができる。 4) 基本的検査結果や経時的な検査結果に基づいて病態の変化を説明できる。 5) 学修のための小グループの1名として適切に行動・発言できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	1限
	講義室	C210		
	担当者	茅野		
	テーマ	オリエンテーション・エピソード1 血液はいのち		
	授業内容	1) 症例の病歴から考えられる病態を考える【仮説をたてる】。 2) 症例の検査データを分析する。 3) 次に行う検査を考える【仮説の検証】。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	2限
	講義室	C210		
	担当者	茅野		
	テーマ	エピソード1 血液はいのち		
	授業内容	症例の解説・トピック・演習 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	1限
	講義室	C210		

担当者	茅野			
テーマ	エピソード2　命みじかし			
授業内容	1) 症例の病歴から考えられる病態を考える【仮説をたてる】。 2) 症例の検査データーを分析する。 3) 次に行う検査を考える【仮説の検証】。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和　7年04月15日(火)	時限	2限
	講義室	C210		
	担当者	茅野		
	テーマ	エピソード2　命みじかし		
	授業内容	症例の解説・トピック・演習 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和　7年04月21日(月)	時限	1限
	講義室	C210		
	担当者	内田		
	テーマ	エピソード3　認知障害		
	授業内容	1) 認知障害を来す疾患の診断確定に必要な検査を挙げることができる。 2) 認知症検査を実施するうえでの注意事項を説明できる。 3) 認知障害を呈す症例の検査データを適切に解釈し病態を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和　7年04月21日(月)	時限	2限
	講義室	C210		
	担当者	内田		
	テーマ	エピソード3　認知障害		
	授業内容	〃		
7	年月日(曜日)	令和　7年04月22日(火)	時限	1限
	講義室	C210		
	担当者	茅野		
	テーマ	エピソード4　うつわの小さなひと		
	授業内容	1) 症例の病歴から考えられる病態を考える【仮説をたてる】。 2) 症例の検査データーを分析する。 3) 次に行う検査を考える【仮説の検証】。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和　7年04月22日(火)	時限	2限
	講義室	C210		
	担当者	茅野		
	テーマ	エピソード4　うつわの小さなひと		
	授業内容	症例の解説・まとめの演習・授業評価 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	定期試験（多選択肢式：論述式＝8：2）の成績で評価する。 再試験は原則実施しない。
教科書	1. 最新臨床検査学講座　病態学／臨床検査医学総論、奈良信雄・高木康・和田隆志、医歯薬出版 2. 最新臨床検査学講座　チーム医療論／多職種連携・栄養学・薬理学・認知症、諏訪部章・奈良信雄・三村邦裕　編、医歯薬出版
参考書	1. 臨床検査法提要　改訂35版、奥村伸生・戸塚実・本田孝行・矢富裕　編、金原出版
連絡先/オフィスアワー	月曜・金曜の昼休み（12:10-13:10）。 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email：hidekazu@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業開始前までにはこれまで使用した教科書・授業資料の該当ページを復習すること。放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けること。

講義名	薬事関係法規		
(副題)	専門科目（総合科目）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 長島 浩	非常勤教員（大学外部）

担当教員	長島 浩
科目の目標	医薬品や健康食品が適正に使用されるために制定された薬事に関連する法令、食品衛生や食品表示に関連する法令、日本農林規格(JAS)を理解する。
学習の具体的な目標	1) 医薬品医療機器等法の目的を説明できる。 2) 健康食品と医薬品の違いについて説明できる。 3) 食品安全基本法の目的について説明できる。 4) 食品衛生法の目的について説明できる。 5) J A S法の目的について説明できる。 6) 健康増進法・医療法の目的および定義を説明できる。 7) 景品表示法の規制について説明できる。 8) 毒物及び劇物取締法について説明できる。 9) 製造物責任法（P L法）の目的について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	長島		
	テーマ	医薬品医療機器等法 その1		
	授業内容	1. 医薬品とは何か説明できる。 2. 登録販売者について説明できる。 3. 毒薬および劇薬について説明できる。 4. 医薬品と健康食品の違いについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	長島		
	テーマ	医薬品医療機器等法 その2 医療法		
	授業内容			

1. 医薬部外品、化粧品、再生医療等製品、医療機器とは何か説明できる。
2. 医療法の目的と各種規制等について説明できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	長島		
	テーマ	麻薬及び向精神薬取締法 毒物及び劇物取締法 食品安全基本法(その1)		
	授業内容	1. 代表的な麻薬および向精神薬を述べることができる。 2. 麻薬および向精神薬のラベル表示、保管方法を説明できる。 3. 麻薬を取り扱うことが出来る職種を述べることができる。 4. 毒物・劇物の定義について説明できる。 5. 食品安全基本法の目的について説明できる。 6. 食品安全委員会について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	長島		
	テーマ	食品安全基本法(その2)		
	授業内容	1. 食品安全基本法の目的および概要について説明できる。 2. 食品安全委員会の組織と委員会の目的と業務について説明できる。 3. リスク評価、リスク管理について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	長島		
	テーマ	食品衛生法・食品表示法		
	授業内容	1. 食品および食品添加物の安全性について説明できる。 2. 食品衛生法と規格基準の設定について説明できる。 3. 食品の表示・広告と食品表示法について説明できる。 4. 食品添加物の種類について説明できる。 5. 食品添加物と農薬の違いについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	長島		
	テーマ	農林物資の規格化等に関する法律(JAS法)		
	授業内容	1. JAS法の目的について説明できる。 2. JAS規格を説明できる。 3. 加工食品、遺伝子組み換え、有機農産物等の品質表示について説明できる。 4. JAS法について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	長島		
	テーマ	健康増進法、景品表示法		
	授業内容	1. 健康増進法の目的を説明できる。 2. 健康食品と関係のある健康増進法の内容について説明できる。 3. 景品、景品表示法について説明できる。 4. 不当表示の例をあげて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	1限
	講義室	C207		
	担当者	長島		
	テーマ	製造物責任法(PL法)、個人情報の保護に関する法律		
	授業内容			

1. 製造物責任法の目的について説明できる。
 2. 欠陥について説明できる。
 3. 個人情報保護の目的と定義について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

評価方法	1. 後期定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 内容は全範囲：記述問題5問、多肢選択問題30問/60分 3. 不合格者については、追・再試期間中に再試験を行う。
教科書	食品衛生学 改訂第2版（栄養科学イラストレイテッド）、田崎達明編、羊土社
参考書	公衆衛生がみえる 2024/2025 メディックメディア社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどは、授業後に教室にて相談を受け付ける。
履修上の注意、履修要件	授業前日には講義予定の該当項目を調べ、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛けてください。 毎回、配布されたプリント資料は綴っておくこと。

講義名	卒業研究		
(副題)	専門科目（総合科目）		
開講責任部署	臨床検査学科		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	4	時間	180.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	4単位/180時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 小野川 傑	臨床検査学科教員

担当教員	小野川 傑・藤原 智徳・飯野 望・木下 勇一・間山 伸・山岸 敏之・小野 公嗣・黒田 真代・与五沢真吾・酒井 純・内田 康子・大村 一之・上滝 圭介・伴場 裕巳・山本 晃司・水谷 諭史・山本 梓司・高橋 祐介・森 幸太郎・川田 真衣・山賀 貴・古川 敏基・竹内 慶太
科目の目標	研究に必要な倫理的配慮と実験動物の取り扱いを理解する。 担当教員の個別指導のもとに、研究計画の作成、研究の実施、論文作成の過程を経験する。学問の方法論を学び、自主的研究態度および医療従事者として卒業後に、常に探究心をもって物事に接し、改善、発展に寄与できる科学的思考を身につける。フィールドワークから研究発表、卒業論文まで能動的、積極的な学修態度（アクティブラーニング）が必須である。
学習の具体的な目標	1. 研究における倫理的配慮を説明できる。 2. 実験動物の取り扱いの注意を説明できる。 3. 各担当教員の研究領域から提示された具体的な研究テーマ（内容）について； 1) 研究計画を立案できる。 2) 自主的に研究（実験、論文検索等）ができる。 3) 結果・考察をまとめ、研究発表ができる。 4) 卒業研究論文をまとめ、作成することができる。 担当教員と研究領域については別途発表する。 *実施に当たっては学科教員以外の医学部・ゲノム医学研究センター等の学内外教員の協力体制のもと、きめの細かい指導が行われる。

授業計画表		
1	授業内容	3年生予定 1) 5月下旬 卒業研究説明会と募集テーマの開示 2) 5月下旬～6月下旬 卒業研究のテーマ選択 3) 6月下旬 所属発表 4) 6月下旬 卒業研究関連講義（研究倫理・動物愛護） ※組換えDNAの講義は別途開催 5) 卒業研究開始 （予習時間30分、復習時間30分）
2	授業内容	4年生 1) 9月中旬～下旬 卒業研究発表会 2) 9月下旬 卒業研究論文提出締切 （予習時間30分、復習時間30分）

評価方法	卒業研究に取り組む姿勢（実験、論文作成）を総合的に評価する。なかでも、（１）成果の発表の有無（中間発表会・学会など。口演・ポスターの区別を問わない）と、（２）卒業研究論文の提出（指定のテンプレートを用い、規定に従って適切に作成されたものであること）は評価の中核をなす。
教科書	各担当教員から提示される。
参考書	各担当教員から提示される。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【小野川】 火曜の昼休み（12:10-13:10）。 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email:「学生便覧」を参照のこと。
履修上の注意、履修要件	各担当教員と連絡を密にし、指示に従うこと。 なお、卒業研究は３年次から開始される。研究の開始に先立ち、「研究倫理」「実験動物の取り扱い」の講義を受講すること。